

スキーを楽しむために安全をチェック!

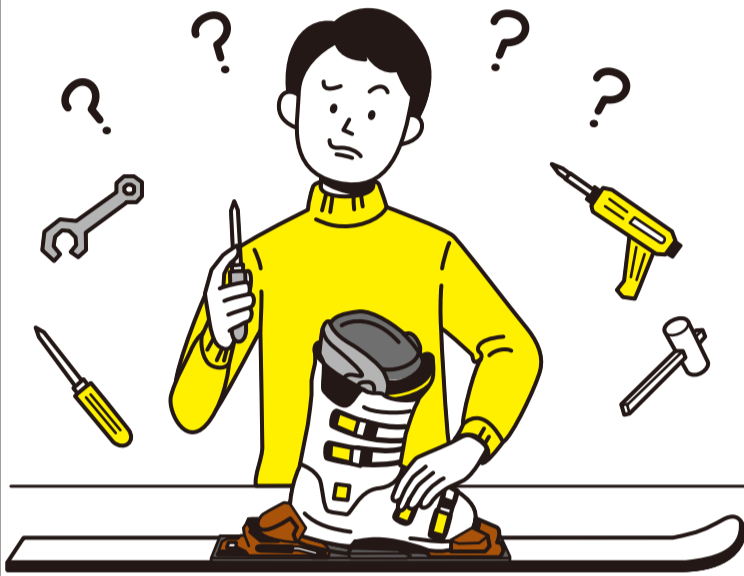
1 ビンディングの調整はしっかりとしましたか?

ビンディング調整は販売店や、レンタル店の専門家にしっかりしてもらいましょう。

ブーツを
買い替えた
etc...

友人から
スキーを
もらった
etc...

家族でレン
タルスキー
を使いたい
etc...



注意! スキー用品の取付け・調整は、ご自分で行うと事故の原因になる場合があります。

ビンディングの取付け・調整は、(ISO 11088) 国際規格 S-B-B システムの認定取得・販売店/レンタル店へ。

ビンディングの取付け・調整は国際規格 ISO 11088: スキー/ビンディング/ブーツ (S-B-B システム) の組み立て・調整に準拠して行われなければなりません。各ビンディングメーカーは、この国際規格 ISO 11088 に準拠した講習会を開催し、受講された販売店/レンタルショップなどに認定証を発行しています。安全で快適にスキーを楽しんでいただくためにも、新規で用具を購入される場合や、購入の後に使用する用具やスキーヤーがかわる場合などでも、ビンディングの調整はご自分で行わずに講習会を受講された販売店/レンタルショップなどで行うことを強く推奨します。

スキー、ビンディング、スキーブーツ購入に際して。

- ・スキーというスポーツは危険がつきものです。いかなるスキー/ビンディング/スキーブーツ・システムも、すべての状況下での安全を完全に保証するものではないことをご理解ください。
- ・ご使用前にそれぞれのシステムをよく点検し、異常を見つけた場合は使用を中止し、販売店などにご相談ください。
- ・取扱説明書は必ずお読みいただき、ご使用上の注意やメンテナンスの方法をお守りください。
- ・スキーヤーがご自分で調整の変更(位置・前圧・解放値など)を行う場合は、自らがその責任を負うことになります。
- ・ご不明な点は、販売店やメーカーにお尋ねください。

S-B-B システムの登録手続きにご協力ください。

S-B-B システムとは、Ski (アルペン用スキー)、Binding (ビンディング)、Boots (スキーブーツ) システムの略。正しい技術指導を受けた技術者が国際規格 ISO 11088 に沿って位置、前圧、解放値など、システムの組み立て、調整、検査を行います。

お客さまには、S-B-B システムに関する「ワークショップチケット」を発行しています。これはお客さまの申告データをもとに技術者の作業案内を証明し、併せてお客さまへの注意事項を確認・同意していただくためのものです。

2 あなたのブーツ・ヘルメットは大丈夫!?

ブーツ・ヘルメットは経年劣化が起こります。

スキー場に出かける前は、安全のために「経年劣化」を事前にチェックを行いましょう。



ヘルメットに
ヒビが!

スキーブーツ本体・
ヘルメットに凹凸や
ヒビ割れは
ありませんか?

ヘルメットのストラップ
(あごひも) がほつれて
いませんか?



スキーブーツ本体に
部品の表皮に白濁、
光沢に著しい衰退は
ありませんか?

ご使用前にご自宅で
履いてスキー動作を
数回繰り返し異常は
ありませんか?



ブーツが
割れてる!

ご使用上の注意: スキー用品には、機能性を考慮し本体や部品にプラスチックが多く使用されていますが、その強度は年月とともに徐々に低下(経年劣化)します。劣化の目安は素材により異なりますが、製造から5年程度といわれています。安全で楽しいスキーライフのために、日頃からのご注意と正しいメンテナンスをお願いします。詳しくは各メーカーの取扱説明書をご覧ください。

SKI SAFETY 4 POINTS



3 転倒時は思った以上の衝撃が!

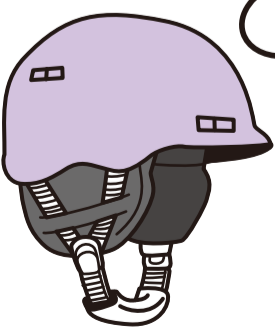
プロテクターは体を守るお薦めのアイテムです。プロテクターの使用は、特別なことではありません。安全なスノースポーツを楽しむためには、プロテクターはお薦めのアイテムです。



欧米ではレーサーだけでなく、一般の方々もプロテクターを使っています。

ハードに滑るアスリートだけでなく、レジャーとしてスノースポーツを楽しみたい方にもプロテクターはお薦めのアイテム。プロテクターは、軽く身体にフィットして、動きやすいものが開発されています。自身のミスによる転倒だけでなく不意な衝突事故から身を守るためにも是非装着してほしいアイテムです。

4 ヘルメット着用! あなたはヘルメット使っていますか?



スキーで
突然転倒!



ヘルメットはあなたの頭をしっかりと守ります。

ヘルメットをかぶっていたことで、ヘルメットが身代わりとなって、重大な事故には至らなかった事例がたくさんあります。安心・安全・お洒落にスキーを楽しむために、ヘルメットは必須アイテムです。



ヘルメット
かぶってなかったら
怪我してたかも!

ご使用上の注意: ヘルメットは構造上、衝撃を受けると外部および内部が破損することにより衝撃を吸収します。滑走時の転倒、衝突はもちろん、ヘルメットを単体で落としたり、過度の力が加わった場合などでも破損・変形する場合があります。内部の損傷は表側からは分からない場合もありますので、一度衝撃を受けたヘルメットの再使用は避けください。また経年変化が発生する場合がありますので、使用目安期間を過ぎましたら、買い換えをお勧めします。詳しくは各メーカーの取扱説明書をご覧ください。